



HITOTSUBASHI
UNIVERSITY



一橋大学 国際・公共政策大学院
グローバル・ガバナンス・プログラム

外交政策シンポジウム

「『核なき世界』に向けたIAEAの 新たな役割：核不拡散、 核セキュリティ、平和利用」

“Role of IAEA toward a World Free of Nuclear Weapons:
Non-Proliferation, Nuclear Security and Peaceful Use”

日時： 2010年3月25日（木）9：30～12：00

場所： KKRホテル東京 孔雀の間

言語： 日英同時通訳

基調講演

講師： 中根 猛 駐ウィーン国際機関日本政府代表部 特命全権大使

パネル・ディスカッション

パネリスト： 中根 猛 大使
阿部信泰 財)日本国際問題研究所 軍縮不拡散センター所長
ローレンス・シャインマン ジェームズ・マーティン不拡散研究
センター教授

吉田文彦 朝日新聞 論説委員

司会： 秋山信将 一橋大学国際・公共政策大学院 准教授

北朝鮮やイランなどの核兵器開発疑惑、アル・カイダのようなテロリスト組織が核兵器にアクセスしテロに使用する可能性など、核拡散や核テロの懸念が高まっている。2009年4月、アメリカのオバマ大統領はプラハで演説し、一つの都市で一発の核兵器が爆発すれば、それがどこであろうとそれが安全、経済、そして究極的には人間の生存に大きな影響があると述べ、核保有国による核兵器の削減とともに、核拡散を防ぎ、「核なき世界」を実現する重要性を説いた。

その一方、地球温暖化やエネルギー安全保障の観点から、原子力の平和利用への関心が世界的に高まっており、中東やアジアを中心にして原子力発電の需要が高まっている。このような現象は「原子力ルネサンス」と呼ばれている。

原子力利用の広がりは、核分裂性物質や機微な技術の広がりが伴う。また多くの場所に核物質や放射性物質が貯蔵されるようになればテロリストなどによる核物質等へのアクセスが容易になり、テロのリスクは高まる。このような核のリスクを低減しつつ、原子力の平和利用を適切に行っていくことは、国際社会にとって大きな挑戦である。その中で国際原子力機関（IAEA）を中心に、国際社会が協力して果たす役割は極めて重大である。

今年は、4月に核セキュリティ・サミット、5月に核不拡散条約（NPT）の運用検討会議が予定されており、核をめぐる国際的な関心はさらに高まっている。そこで本シンポジウムでは、現代の国際社会において多くの国にとって、そして言うまでもなく日本にとって重要な外交のテーマである核不拡散について、IAEAを中心とした国際協調がいかに重要であるか、またどのようにして国際協調を形成すべきかについて議論したい。

プログラム

09：00 受付開始

09：30 開会

開会の挨拶： 渡辺智之 一橋大学国際・公共政策大学院 院長

09：45 基調講演

講師： 中根 猛 駐ウィーン国際機関日本政府代表部 特命全権大使

10：15 コーヒー・ブレイク

10：30 パネル・ディスカッション

パネリスト： 中根 猛 大使

阿部信泰 財)日本国際問題研究所 軍縮・不拡散促進センター所長

ローレンス・シャインマン ジェームズ・マーティン不拡散研究センター教授

吉田文彦 朝日新聞 論説委員

司会： 秋山信将 一橋大学国際・公共政策大学院 准教授

12：00 閉会

【参加申し込み】

参加費無料 先着100名（※要申し込み）

①氏名（ふりがな）、②職業、③所属、④連絡先を明記の上、下記のe-mailまたはFAX送信先までお申込み下さい。

FAX： 042-580-9085

e-mail： cj00009@srv.cc.hit-u.ac.jp

【お問い合わせ】

一橋大学国際・公共政策大学院 外交政策シンポジウム準備室

電話： 042-580-9133

アクセス



KKRホテル東京

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-4-1

電話： 03-3287-2921（代表）

・タクシー

東京駅より、約5分

東京駅（丸の内北口）より「KKRホテル東京」または「気象庁向い」とお伝えください。

・地下鉄

東西線「竹橋駅」3b出口直結

千代田線「大手町駅」C2出口、都営地下鉄「神保町駅」A9出口よりそれぞれ徒歩5分